

サトウキビ「Ni27」の夏植えは、8月下旬までの植付けが適する

8月下旬までの植付けで、収量確保とともに、最終培土は年内で終了し、他作型の収穫作業との競合を避けられる

背景・目的

- ・大島地域のサトウキビ夏植えは、8～9月が適期とされているが、暑さを避けるため9月以降の植付けが多い
- ・収量確保のためには、生育期間の確保が重要で、多収品種「Ni27」の計画的な夏植えによる安定生産が必要
- ・「Ni27」の夏植えで、最終培土と収穫作業の労力分散が可能な植付時期の明確化が必要

成果の内容

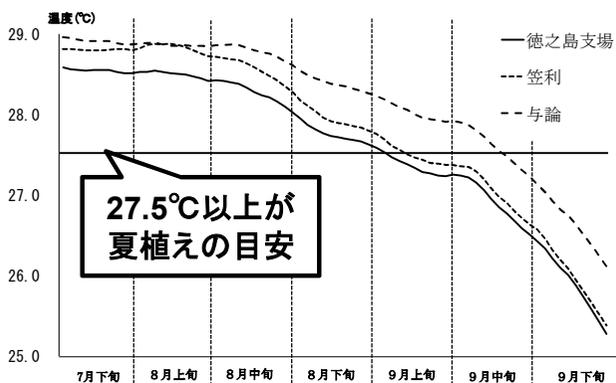
収量，作業面から8月下旬までの植付けが適する

8月下旬までの植付けで年内に最終培土

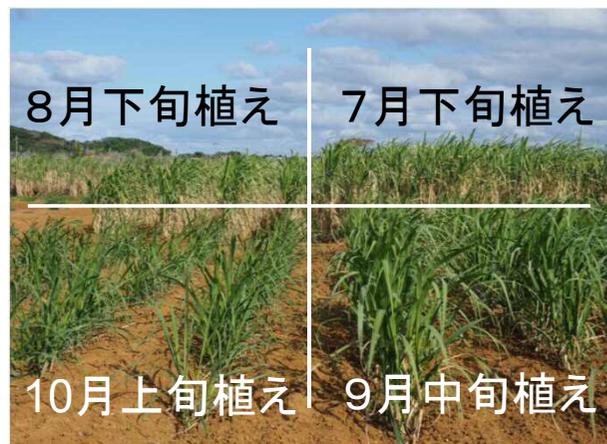
9月中旬までの植付けで収量の確保

初期生育・管理作業				最終培土	植付時期	収量性				
平均気温 (°C)	仮茎長 (12月cm)	平均 培土	9月			原料茎重 (kg/a)	収穫茎数 (本/a)	一茎重 (g)	甘蔗糖度 (%)	可製糖量 (kg/a)
29.4	160	9月	12月	7月下旬	1,202	1,235	1,315	14.6	158	
29.0	109	10月	12月	8月下旬	1,160	942	1,544	15.3	160	
27.4	40	12月	4月	9月中旬	1,180	894	1,398	15.6	164	
26.9	27	12月	4月	10月上旬	983	905	1,137	16.5	146	

注) 植付：平成29年，収穫：平成30年11月下旬



大島地域の旬別平均気温の推移



植付け時期別生育状況(12月撮影)

期待される効果

栽培型等	7～8月	9～10月	12月	1～4月
夏植え	植付	平均培土	最終培土	雑草・害虫防除など
春植え株出し	雑草・害虫防除など			収穫株出し管理 植付け

夏植えと春植え・株出しの作業体系図

- ・作業の分散が可能
- ・収穫や他の管理作業に集中できる
- ・作業分散することで規模拡大が可能

○普及対象・範囲
大島地域のサトウキビ夏植え栽培農家

鹿児島県農業開発総合センター
徳之島支場 作物研究室

(革新的技術開発・緊急展開事業(うち経営体強化プロジェクト))